

82会報

癡
聴
音
ま
い

発行所 公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会
〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11
福祉財団ビル5F
TEL 03-6907-2537
FAX 03-6907-2915
(題字 山東昭子会長)

会長あいさつ



会長
山東昭子

を青山学院大学として開催をすべく準備を進めているところです。多くの母様方やご家族、関係者が一堂に集まる式典を三年ぶりに開催したいと考えています。

毎年お世話になっている公益財団法人JKA競輪共益資金の補助事業であるFM補聴システム無償貸与は、昨年度からデジタルワイヤレス補聴援助システムに切り替えて実施させていただき、全国から多くの希望者が集まりました。抽選の結果十三名の方に無事貸与が出来ました。全員の方に貸与出来ず申し訳なく思っています。来年度も継続したいと考えていますので、ご応募のほどお待ちしております。

同じく公益財団法人JKA競輪共益資金の補助事業を受け、今年度から始めた「乳幼児教育相談支援事業」は全国各地の学校から予想以上のご依頼を受けております。乳幼児教育を専門にしておられる先生方が各学校に赴き、講演をして交流が深まっているところでございます。

「響き」の会報も無事八十二号を迎えることが出来ました。これも皆様がいつもご支援してくださるおかげと感謝申し上げます。

今年度は、一回目の読字力検定に始まり、全国聾学校絵画展、全国聾学校作文コンクールなどコロナの影響を受けながらも開催の仕方を工夫しながら何とか無事に終えることが出来ました。たくさんの作品の応募があり、どの作品も力作揃いでました。絵画展は、全国聾教育研究大会が愛知県で開催され、会場から結果を発信いたしました。また、作文コンクールは冊子を作成し、皆様にお届けしたいと思っています。

「聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」は、会場

令和四年度 理事会・評議員会報告

理事会 令和四年六月二十日
評議員会 令和四年六月二十日

参議院議員会館一〇一會議室にて行われました。

令和三年度事業報告及び事業報告の附属明細書に関する件

理事会において承認され、評議員会で報告がなされた。

② 令和三年度収支決算に関する件

③ 収支決算報告・監査報告・財務諸表が理事会、評議員会で承認決議された。

④ 令和四年度公益財団法人JKA補助事業の実施について承認決議された。
⑤ 次期役員の理事会推薦名簿が承認決議された。
理事候補者推薦（案）が承認された。

令和四年度 事業計画

【補助事業】 公益財団法人JKA競輪収益助成事業

① デジタルワイヤレス補聴援助システム無償貸与事業
令和四年度も昨年度と同様の新しいタイプの機種を採用して継続して支援する。

② 乳幼児教育相談支援事業
○才児から発見される聴覚障害乳幼児のお母さん達や新しく対応する先生方向けに今

度から始まった支援事業です。



【一般事業】

① 事業案内

全国聾学校に協会ホームページ上のリンクを通して事業案内（実施要項）を提示。このリンクからダウントロードして各学校・機関は事業案内を入手する。六月の全国聾学校長会総会で事業説明を行つた。

② 「第四十五回聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」

開催日：令和五年一月二十三日（月）

会場：青山学院大学講堂（渋谷区渋谷）

後援：文部科学省、厚生労働省、東京都教育委員会
全国聾学校長会、全国ろう学校PTA連合会
(予定)

③ 第二十六回全国聾学校絵画展

審査会：令和四年八月八日
展覧会：令和四年十月六日（木）・七日（金）

全日本聾教育研究大会（愛知大会）の中で展示
表彰式：最優秀賞・文部科学大臣賞受賞者在籍校に会
長が赴いて実施予定

後援：文部科学省・全国聾学校長会、全国ろう学校
PTA連合会

④ 第三十四回全国聾学校合奏コンクール

課題曲：自由
審査会：令和四年十一月四日（一次）、令和五年一月十
三日（二次）

表彰式：金賞・文部科学大臣賞受賞校に会長が赴いて
実施予定

後援：文部科学省、東京都教育委員会、全国聾学校長会、
全国ろう学校PTA連合会

⑤ 第十七回全国聾学校作文コンクール
テーマ：自由
審査会：第一次 令和四年八月二十二日
第二次 令和四年九月五日

調査研究委員会・応募作品の分析研究調査
表彰式：「第四十五回聴覚障害児を育てたお母さんをた
たえる会」で実施予定

共催：全国聾学校長会

後援：文部科学省、東京都教育委員会、全国ろう学校
PTA連合会

⑥ 読字力検定試験 一回目修了（五七校、八六二名受検）

⑦ 聽覚障害教育関係資料収集事業

⑧ 会報「響き」の発行 年二回

⑨ 募金活動（ハマナス募金、クラウドファンディング）
実施 目標額千四百万円

⑩ 法律相談（インターネット等による法律相談）
専門図書、ビデオ、DVDの紹介・颁布

⑪ 協会ホームページの公開・更新

⑫ 全日本聾教育研究大会への助成

⑬ 聽覚障害乳幼児教育相談委員会 関連業務の継続

⑭ 聽覚障害乳幼児教育相談委員会 関連業務の継続

令和四年度 役員名簿 （敬称略）

理事

（会長）山東昭子（副会長）森伸夫、浅井健一

（専務理事）松本末男

（常務理事）木内弘司、齋藤佐和、藤本登、仲田邦男

（理事）阿部きみよ、今井絵理子、小川昭子、

桑山哲夫、小林明、田中美郷、辻村哲夫、中村喜久子、
平口洋、山田春雄

（監事）関根正浩、本間通義

評議員

荒川早月、荒崎勝美、石川庄六、植草喜代治、
大沼直紀、大場利秋、堅田明義、加藤聖治、

金子昌夫、小島藤昭、篠崎利之、鈴木茂樹、
関良規、竹内美和子、武田智彦、武田直丈、
田中眞由美、鄭仁豪、戸田典尚、野崎正史、

根本匡文、廣田栄子、堀米泰晴、山勝彦、

事務局

（事務局長）近藤徹
（事務主事）東隆治

なお、長きに亘って当協会の評議員をお勤め頂いた
小川昭子氏は、今年度から理事として就任されました。

就任ごあいさつ 小川昭子



新理事就任 小川昭子

この度は理事をさせていた
だくことになりました。十月
二十八日で元気に九十四歳を
迎えました。ただ自然には勝
てず下肢筋力の低下で歩行の
時には杖を使うようになります。
した。この事は長い間、車を使って往診のために移動
していたからかなあと反省をしています。現在も病院
の医院長として外来の患者さんを診察し、併設する病
児保育室も無事に地域の方々のために少しですがお役
に立っています。夫が逝つて十一年目になりますが、
夫の思いを引き継ぎ、聴覚障害児のために少しでもお
役に立てばと考えて理事として復帰することにしまし
た。これからもできる限り頑張りたいと思っております。
お役に立てるようにできる限りの事をしていきます。
どうぞよろしくお願ひします。

四日市章

協会の事業

●令和四年度 第一回読字力検定試験

本年六月実施の読字力検定試験の結果は、左記の通りでした。第二回（現在実施中）、第三回（二月）でも、受検生のみなさん、頑張ってください。

・受検学校数 五十七校

・受検者数総数 八六二名

・合格者 七〇三名

・級別合格者数（受検者数）

九級..	一一八（一四三）	八級..	一〇八（一一六）
七級..	九八（一一六）	六級..	九二名（一一四）
五級..	九六（一一二）	四級..	七四（七八）
三級..	五七（一〇三）	二級..	三〇（三六）
一級..	二六（二九）	特一級..	四（十五）



展覧会の様子

第二十六回 全国聾学校絵画展

今年度の全国聾学校絵画展は、八月八日（月）審査が行われました。

・応募作品総数四一五点

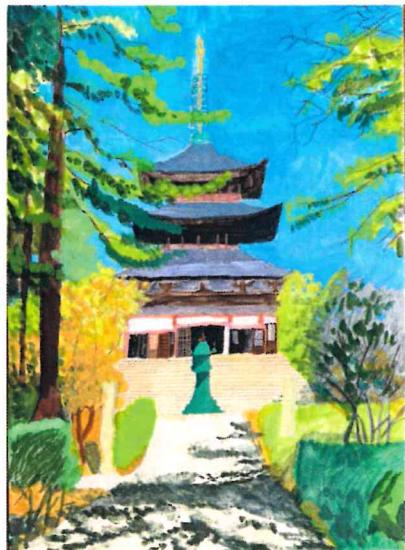
・幼稚部・小学部門 三二二点

・中学部・高等（専門科含む）部門 九四点

絵画展優秀賞（二点）並びに優秀賞受賞作品（十一点）は、令和四年度第五十五回全日本聾教育研究大会（愛知大会）会場において展示されました。

最優秀賞（中学部、高等部、専攻科部門）

・長野ろう学校 中学部三年 相羽星音
「忠靈殿」



最優秀賞（幼稚部、小学部門）

・文部科学大臣賞 水戸聾学校 小学部一年 末谷ひなの
「だんごむし」

優秀賞受賞者

甲斐零（大分）	満留悠斗（鹿児島）
松岡明香里（直方）	片岡湊翔（水戸）
矢野壮亮（大分）	芹澤碧彩（沼津）
八島美月（福島）	劉星智（大塚）
下条優太（水戸）	OT（直方）
松元愛菜（和歌山）	五代みゆき（筑波）
工藤李華（大分）	五十嵐莉奈（新潟）

文部科学大臣賞 表彰式の様子



全国聾学校絵画展審査総評

わっててくる作品だと感じました。

今年もたくさんの学校から多くの作品のご応募をいただきましてありがとうございました。今年も新型コロナ感染症の蔓延による暗い気持ちや様々な不自由さが続く中、皆様の元気で明るい色調のお作品を拝見出来て、審査をする私たちにも一筋の光明というか、明るく暖かな気持ちを持てる時間となりました。皆様の気持ちのこもった元気で明るい作品を見せていただく中で、あらためて絵を描くことや観ることの大切さを痛感させられる審査となりました。

審査をする時には毎回感じる疑問があります。それは、皆様が一生懸命描いた作品を選ばなければならないのかという事です。審査についてですが、まず、じつくりと作品を観ていると、やはり目を引く作品が出てきます。それは、技術力のみならず、自由な感覚での思い切った色彩や筆使い、これが好きとかこうしたいと思いつつあります。それは、技術力のみならず、自由な感覚での思い切った色彩や筆使い、これが好きとかこうしたいと思う側にも伝わり明るく暖かな気持ちを喚起するものだと思います。だからこそ、これからも絵を楽しんで描くという気持ちを持ち続けて描いていただけたらと考えます。

その様な視点で審査を続け、徐々に絞り込み、まずは入選作の十六点を選びました。そしてその中から二点を選び、小一の末谷ひなさんの「だんごむし」を文部科学大臣賞に、中三の相羽星音さんの「忠靈殿」を最優秀賞に選びました。末谷さんの「だんごむし」は綺麗な色の背景の中に、巨大なダンゴムシが描かれています。その虫を一生懸命に見る視線を感じ、そこからたくさんの線を重ねて描いている表現に、その動きまで感じさせてくれました。相羽さんの「忠靈殿」は皆でスケッチに行つたのでしょうか。参道を歩きながら徐々に大きくなつてくる忠靈殿に対しての感動する心と現場で感じている静謐さやリアリティまでが伝

そのほかの選ばれた優秀賞の十四点の作品もとても魅力的な作品で優劣のつけられない作品でした。幼一甲斐零さんの「りすむたのしかつたよ」綺麗なパステルトーンでのリズムの良さ。幼一満留悠斗さんの「しつぱとりまでまでー」は強い黄色の色の面と線が綺麗に絡みしつぱりとまつ感覚が伝わります。幼二松岡明香里さんの「しろいは。は、は、は」は顔をいっぱいに描いた大胆さと表情が楽しいです。幼三の片岡湊翔さんの「ちようちよがいつぱい」は綺麗な色とコラージュのギャップが面白く見えます。小一の矢野壮亮さんの「はりねずみのおしごと」は描き続けた青クレヨンの線が動きと迫力を感じさせます。小二の芦澤碧彩さんの「えさをもつてきたよ！」は画面いっぱいに広がったお母さん鳥のダイナミックさが伝わってきます。小三の八島美月さんの「春がやつてきた」は色の組み合わせハートが魅力的で、版画技法の効果がよく出ています。小五の劉星智さんの「キングコブラ」は不透明の絵具の組み合わせと形でその力強さが表れています。小六の下条優太さんの「あつ！モンシロチョウ」は見つけた時の感動とよく見ている感じがよく伝わってきます。小六の〇〇さん、「たいこをドンドン！」は動きがよく出でて、太鼓を叩く人が画面から飛び出してきそうです。中二の松元愛菜さんの「マーガレット」はとても綺麗ですね。見た時の感動が画面いっぱいに伝わってきます。高一の五代みゆきさんの「春の蕗」は確かな觀察眼とあふれる蕗を奥行きと共にとてもよく描かれています。高一の工藤李華さんの「自画像」は感情を表す様なVサインと周囲の抽象的な模様がよくマッチしています。描くのが難しい手や顔などの描写をやり切っているのも魅力的です。高三の五十嵐莉奈さんの「平和と未来をつなぐ龍」は大胆な色彩とダイナミックな形態感と顔の毛や鱗に對しての繊細な描写がバランスを持ち魅力的になっています。

持った作品であると感じています。
また、色々な技法にチャレンジしながら生徒の良さを引き出そうとされている先生方のご尽力にも感謝申し上げます。この美術展は入選にチャレンジするという形ですが、そこに向かってのチャレンジや試行錯誤をすることによって皆様方の魅力や感性が少しづつ溢れ出していくものだと思います。ぜひとも次回についてもご出品いただき、魅力溢れる力作を見せていただけましたら幸いです。

審査委員 矢澤健太郎、錦織重治、木脇康一、
竹内一、松本末男

第十七回 全国聾学校作文コンクール

全国聾学校作文コンクールの結果は左記の通りです。
応募総数一二一一点（小学部五十三点、中学部三十三点、高等部・専攻科三十五点）でした。

金賞・文部科学大臣賞

筑波大学附属聴覚特別支援学校
高等部三年 木下 花乃

金賞・全国聾学校長会会長賞

東京都立中央ろう学校
中等部三年 佐藤 桜花

金賞・聴覚障害者教育福祉協会会長賞

静岡県立浜松聴覚特別支援学校
小学部五年 松井 未緒

銀賞

岡部 未怜（群馬） 齋藤 海渡（筑波）
野口 ひなた（中央） 森 星音（名古屋）

伊藤 匠人（筑波） 畑 日花里（沼津）

銅賞

井上 日菜乃（千種） 脇山 蒼唯（千種）
児玉 花凜（名古屋） 秋江 慧大（名古屋）
田苗 優希（筑波） 西橋 一彦（熊本）

今回は優秀賞に至らなかつた作品も、各々の魅力を

第四十五回 聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会

お母さんをたたえる会

ハマナス募金

この二年間「聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、二年ほど式典と発表を行わず、表彰の楯を各お母さん方にお届けするだけでした。今年度は三年ぶりに開催する方向で準備を進めています。しかし、毎年行われてきた憲政記念館が改築で今年から七年ほど使用できません。そこで、今年は青山学院大学の講堂で行うよう準備を進めています。

開催日…令和五年一月二十三日（月）

主催…公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会

後援…文部科学省 厚生労働省 東京都教育委員会

協賛…株式会社日健総本社 他 全国聾学校長会 全国ろう学校PTA連合会

●桜内義雄賞

今年度の桜内義雄賞は、福島郎博氏に贈られることになりました。福島氏は島根県内の学校で聴覚教育に長年携わってこられました。途中、筑波大学附属聴覚特別支援学校においても教鞭をとられ、その後、島根県立松江ろう学校の校長を務められました。長年に亘り聴覚障害者支援の教育に尽力されてこられました。

第三十四回 全国聾学校合奏コンクール

年間最後の事業である合奏コンクールは、八月末の応募申し込み状況により、初めて参加する学校も増えて楽しみです。今年も予定通り実施することが出来ます。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で学校も子どもたちも少し元気がなくなってしまっていますが、元気な演奏で関係者を励まして欲しいと思います。

当協会の事業は、公益財団法人JKA競輪公益資金の補助をはじめとして、皆様方からのご寄附（ハマナス募金）により実施しています。皆様方のご理解とご支援に深く感謝しております。今年度も計画事業の適正な実施に努めているところですが、昨今の社会情勢から事業資金の確保が大変厳しい状況にあります。つきましては、皆様方より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ハマナス募金のお振込みは、郵便振替もしくは銀行振込にてお願いいたします。

郵便振替口座 00110-9-134877

名義 聴覚障害者教育福祉協会

銀行振込 みずほ銀行江戸川橋支店
普通口座 1615748

名義 公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会
会長 山東昭子

当協会は、平成二十四年四月六日内閣府（内閣総理大臣）より税額控除に係る証明を受けております。

令和四年四月一日から九月末までの間に、次の皆様方よりご寄附をお寄せいただきました。誠に有難うございました。

（敬称略）

木内弘司、株式会社日健総本社（森伸夫）、谷口昭子（毎月お寄附を頂いています）、櫻井あつ子、神辺洋吾、ライシャワ・クレーマ学園、北海道高等聾学校教育振興会、山田春雄、全国難聴児を持つ親の会（田中真由美）、辻村哲夫、中村喜久子、近畿調査株式会社（武健一）、石川庄六、阿部きみよ、田中美郷、桑山哲夫、本間通義、竹田統子、佐々木節子、西村廣一、小林明、青森県こども心を育む会事務局、古橋靖夫、一般社団法人日本補聴器販売店協会、リオン株式会社、姫路聴覚特別支援学校白鷺会（竹中恵美子）、東京ホールディングス株式会社、株式会社テアトルアカデミー、荒崎勝美、静岡県聴覚障害者親の会（鈴木厚）、長野県長野ろう学校、竹ヶ原克哉事務所、柳本廣子

クラウドファンディング

今年度初めてクラウドファンディングを行いました。「ハマナス募金」で多くの方に募金を頂いておりますが、コロナウイルス蔓延の影響か、昨年度から募金がかなり減ってしまいました。このことがきっかけで始めたわけですが、クラウドファンディングを始めるにあたつて議論を進める中で、本協会の認知度を上げ、より多くの人に聴覚障害のことについて知つていただきたいという話も多々出されました。インターネットのメディアを通してその思いも発信するという考えのもとクラウドファンディングを始めました。十月三十一日まで二ヶ月弱の活動を行いました。活動の総括は次号に載せたいと考えています。

結果としては二百七百万円の御寄付が集まりました。当初考えていました三百万円には届きませんでしたが、目標の60%となり、八十一名の方々がたくさん寄付をして下さいました。今後一人ひとりに御礼の手紙を出す予定です。多くの方々から励ましの言葉をいただき涙することもありました。まったく面識のない方々や知人等から協力いたことを紙面を借りてお礼させていただきます。

今回は「聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」や協会の運営費用として活用させていただきます。本当にありがとうございました。

令和四年度

公益財団法人JKA競輪公益資金による補助事業実施計画

一 事業名

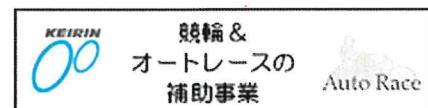
令和四年度障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業

二 事業実施内容

(一) デジタルワイヤレス補聴援助システムの購入・無償貸与

全国聾学校・聴覚特別支援学校、小学校、中学校、難聴児童通園施設に在籍、在園する幼児・児童・生徒の家庭に貸与

- (一) 乳幼児教育相談支援事業
本事業は、聴覚障害乳幼児のための支援活動を行っている教育機関や療育機関に対して、本協会から経験豊かな指導者を派遣し具体的な支援の在り方について講義や具体的な指導内容についてのアドバイスをすることで親御さんや指導に携わる指導者がより深く広い視点を持つことができるようにするための支援事業です。



ホームページをリニューアルしました

今年度から協会のホームページをリニューアルしました。スマートフォンの普及に伴い協会のホームページもスマートフォンで見られるようにリニューアルすることにしました。それに伴い、中身のデザインも一新しました。「事業案内」もホームページからダウンロードしてお使いいただけます。まだ変わらぬければならないところもありますので、ご意見をお待ちしています。



協会ホームページ：<https://www.choukaku.com/>

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大はいまだに収まらず、本協会の事業も対面とリモートとの併用で行うハイブリッド方式を使うなど制約を受けている現状です。

それでも今年度は六月に理事・評議委員の合同総会を三年ぶりに顔を合わせて開くことが出来ました。

また、絵画展、作文コンクール等の事業も実施することが出来ました。これから実施する合奏コンクールも順調に実施できるよう願つている次第です。

さて、先にも触れましたが四十五回目になる「聴覚障害児を育てたお母さんをたてる会」は青山学院大学にて実施すべく準備中です。三年ぶりの開催となりますが、新型コロナ感染が拡大しない限り実施いたしますので、実施の際はご協力の程よろしくお願ひいたします。